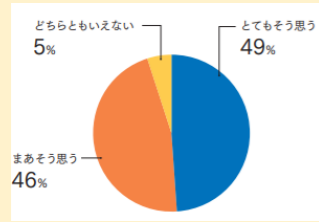
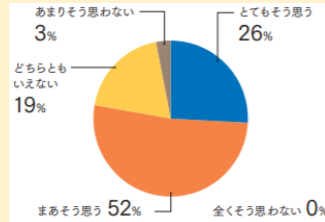


○講座内容は学校現場のニーズに合っていましたか？

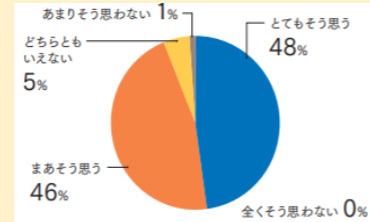
第1回講座



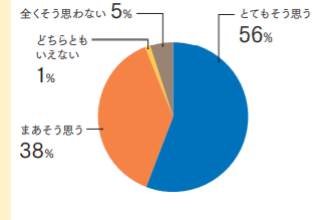
第2回講座



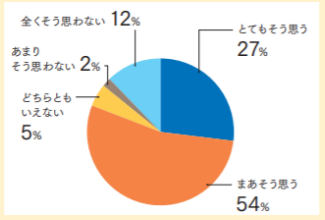
第3回講座



第4回講座



第5回講座

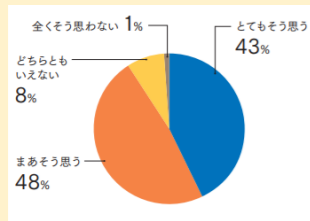


講座の内容が学校現場のニーズに合っていたかどうかにおいて、第1回(95%)、第2回(78%)、第3回(94%)、第4回(94%)、第5回(81%)とどれも学校現場のニーズに合っていたが、特に第1回と第3回、第4回は学校現場のニーズを反

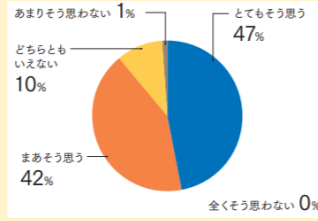
映していたと考えられる。なお、第2回の数値が若干低いのは、当該講座の内容が「効果的なチーム・ティーチング」であり、足立区の小学校においては、現下外国人とのチーム・ティーチングを実際行っていないことが影響していることも考えられる。

○質問：総合的に講座に満足できましたか？

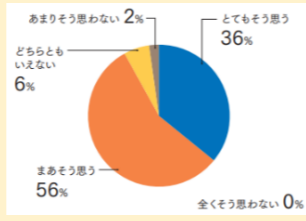
第1回講座



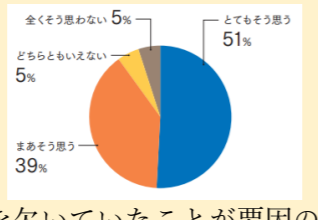
第2回講座



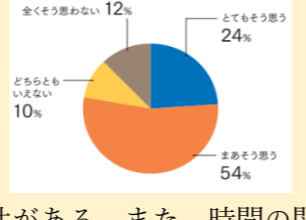
第3回講座



第4回講座



第5回講座



第1回(91%)、第2回(89%)、第3回(92%)、第4回(90%)、第5回(78%)が肯定的回答であった。第5回が若干肯定的評価は低い。このことは、後半が、第1回から第4回講座のまとめという位置付けで実施したものであり、内容の新鮮さを欠いていたことが要因の可能性もある。また、時間の関係で受講者とのインタラクションや質疑応答の時間がとれなかったことが影響していると考えられる。

○質問：次回も同じような講座を受けたいですか？

第1回(89%)、第2回(83%)、第3回(92%)、第4回(85%)、第5回(75%)であり、どの回ももっと学びたいという意見が大部分を占めた。

全講座の詳細を見るには明海大学HPを！ <https://www.meikai.ac.jp>

*全講座の詳細(講座前タスク、講座中動画、講座後タスク、成果報告書など)は、明海大学HPのトップページ右上の「研究・地域連携」をクリックし、さらにバナー「令和2年度教員養成機関等との連携による小学校外国語の専門人材育成・確保事業」をクリックするとご覧いただけます。

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 文部科学省委託

令和2年度教員養成機関等との連携による小学校外国語の専門人材育成・確保事業
—MEIKAI-JOE 小学校外国語科等講座—

MEIKAI-JOE
MEIKAI, J-SHINE and Office of Education



本事業の概要

本事業は、明海大学が令和2年度に文部科学省の委託を受けて開発・実施した小学校外国語科等講座です。本事業においては、小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)の協力を得て、小学校教師の負担を軽減しつつ質の高い授業を行える指導体制を構築するという趣旨を踏まえて実施したものです。

なお、本事業の名称が長いものとなることから、明海大学のMEIKAI、協力機関のJ-SHINEのJ、そして教育委員会のOffice of Educationの頭文字をとって、MEIKAI-JOEという略称を使用することにしました。

1 対象と目的

本事業では東京都足立区、千葉県浦安市、秋田県横手市の公立学校教員を対象に「小学校外国語科等講座」を実施し、目的を「小学校の学級担任の多くが抱えている小学校外国語科・外国語活動の指導に対する不安感を払しょくし、授業に積極的に取り組む意欲を向上させるとともに、円滑に指導できる指導力及び英語力を養成すること」としました。



実施に当たっては、(株)モアカラーのスタッフにより本学をスタジオとしてZoomによる講座配信を行いました。拠点校及び拠点校外から200名の先生方が受講したとともに、本学の学生も受講したり講座の中で教師役や児童役を演じたりしました。

2 講座概要

本講座は令和2年10月から12月にわたり、全5回実施しました。受講者は、各回とも当日の受講だけでなく、WEBサイトで提示される事前や事後のタスクにも取り組みました。

【受講前】受講者は、オンライン講義資料をダウンロードし、事前に提示されたタスクに取り組み、講座当日に臨みました。

【受講当日】受講者は、各講座とも高野敬三副学長・外国語学部長・教職課程センター・地域学校教育センター長のあいさつ、趣旨説明を視聴した後、ワークショップ型の講義をオンラインで受講しました。

【受講後】受講者は、講義アーカイブ動画を視聴したり、提示されたタスクに取り組んだりしました。またリフレクションシートへの記入や講座評価アンケートへの回答を3日以内に行いました。



3 各講座内容（各講座の動画は、大学HPからご覧いただけます。）

【第1回講座】10月20日（火）15:00～16:30 テーマ：学習指導要領

《参加者》拠点校74名、拠点校外81名、学生25名

講師：J-SHINE 専務理事（上智大学言語教育研究センター教授）藤田 保
内容：学習指導要領に記されている外国語科・外国語活動の目標・内容等を理解する講座とした。講座の中で、講師と受講者とのやり取りを随時行った。



【第2回講座】11月18日（水）15:00～16:30 テーマ：効果的なチーム・ティーチングの在り方

《参加者》拠点校68名、拠点校外105名、学生25名

講師：明海大学 多言語コミュニケーションセンター 教授 Patrizia Hayashi 准教授 Tyson Rode
教職課程センター・地域学校教育センター 教授 百瀬 美帆



内容：チーム・ティーチングにおける学級担任の役割、ALTの役割について理解できる内容とした。具体的には、ALTとの親和関係の構築方法や有用表現を紹介した後、授業前の打合せに必要なALTとのやりとりや、絵本の読み聞かせなどの活動指導におけるALTとのやりとりを受講者同士またはALT役の講師と練習した。講座の中で、講師と受講者とのやり取りを随時行った。（ワークショップ型）

【第3回講座】11月25日（水）15:00～16:30 テーマ：Small Talk の実際とデジタル教科書への接続

《参加者》拠点校89名、拠点校外58名、学生25名

講師：明海大学 教職課程センター・地域学校教育センター 教授 石鍋 浩
外国語学部英米語学科 講師 前田 隆子

内容：本年度から始まった外国語科および外国語活動における Small Talk の実際とデジタル教科書のより効果的な使い方を知ることができる内容とした。また、講師による模擬授業（Small Talk や必然的な Activity などを含む）を実施した。講座の中で、講師と受講者とのやり取りを随時行った。（ワークショップ型）



【第4回講座】12月16日（水）15:00～16:30 テーマ：学習指導と評価

《参加者》拠点校87名、拠点校外87名、学生25名

講師：J-SHINE 理事（玉川大学大学院名誉教授・特任教授）佐藤 久美子



内容：小学校外国語科・外国語活動における指導と評価の在り方について、具体的な Activity や児童の発表内容に基づきながら理解する内容とした。講座の中で、講師と受講者とのやり取り（Activity）も一部行った。（講義+ワークショップ型）



【第5回講座】12月22日（火）15:00～16:30 テーマ：小学校英語指導の心得と中学校への接続の期待

《参加者》拠点校83名、拠点校外75名、学生25名

講師：明海大学 教職課程センター・地域学校教育センター 教授 石鍋 浩 教授 百瀬 美帆
准教授 金子 義隆

多言語コミュニケーションセンター 教授 Patrizia Hayashi
准教授 Tyson Rode

外国語学部英米語学科 講師 前田 隆子

J-SHINE 専務理事 藤田 保 理事 佐藤 久美子
事務局長 鈴木 菜津美

内容：本講座のまとめとして、小学校英語指導者が知っておくべき第二言語習得と動機付けの基礎理論について学んだ。次に、中学校英語につながるために小学校段階で指導すべきことの理解を講義とビデオを通して深めた。その後、協力機関 J-SHINE の講師3名及び明海大学の講座担当者から、これまでの講座に関する質問への回答とともに受講者に対してメッセージを伝えた。



各市区教育委員会総括と受講者の感想（抜粋）

○足立区教育委員会の総括

区教委主催の研修と本講座を並行して取り組むことにより、受講者は双方の研修内容を相互補完的に理解することができた。受講者は本講座を通して多彩な講師と出会い、区教委主催の研修とは異なる角度から様々な方法で講義・演習を受けた。このことにより受講者は一時的に断片的な理解に留まっていた研修内容を再整理するとともに研修で学んだ事項を実際に授業で活用することで理解を深め、実践力に高めることができた。

○足立区の受講者の感想

本校からは1～6年担任、専科教員、特別支援学級担当教員等、校内で21名の教員が参加させていただいた。教科となった外国語教育の背景や教授法について、まだ理解や認識の深さが様々である中、多くの教員が複数回にわたって学ぶ機会を得ることができたのは、本校にとって非常に大きな財産となった。専門的なご指導に「なるほど」と自然に納得し、多角的に学ぶことができたため、講義後にも学年や担当を越えて感想を述べ合ったり意見を交換したりして互いにコミュニケーションを図ることができた。



○浦安市教育委員会の総括

小学校の先生方が日頃から抱えている不安感に寄り添う研修内容であった。学級担任を中心とした授業者が、評価を意識しながらT1(主担当教員)として授業を行うための具体が示されていた。また、オンラインで足立区、横手市の先生方と一緒に研修を行うことで、地域、学校が異なっても、先生方の抱える悩みや思いは同じであることが確認でき、オンラインのよさが生かされ非常に有意義な研修となった。学習指導要領の内容や評価方法について一連の流れを知るだけでなく、先生方が実際に体験したり困り感を質問したりすることで今後の自信につながったのではないかと考える。

○浦安市の受講者の感想

講座を通して、「英語は誰でもやればできる」という気持ちをもたせること、「英語は間違えながら上手になる」という雰囲気を作ることが授業をする上で何よりも大事だと改めて感じた。そして、「できた」「わかった」場面を作るために褒めるレパトリーを増やしたり具体的に言葉で伝えたりすることを大切にしていきたいと思った。



○横手市教育委員会の総括

本講座はオンラインにより実施されたため、コロナ禍で人的交流が難しい中でも外国語教育を専門とする講師の方々から良質で実践的な講座を受講することが可能となった。複数回にわたる講座の実施については、「全5回の長期的研修であったために、講座で学んだことを授業に生かし、新たに生じた課題をもって次の講座を受講することができた」との感想が参加者から寄せられたように理論と実践を往還しながらの研修効果は大きかったといえる。

○横手市の受講者の感想

新学習指導要領が全面実施となった今年度、私は日々授業を行う上で「改訂の趣旨を踏まえた学習指導を行うことができているのか」という不安を抱えていた。そんな中、本講座を受講する機会をいただき、ALTとの効果的なチーム・ティーチングの在り方や Small Talk の実践方法、学習指導と評価の関連性などこれからの外国語教育に求められる指導内容を学ぶことができた。どの講座も授業にすぐに活用できる実践的な内容が多く、講師の先生方の専門的かつ具体的な説明も大変参考となった。

